

静岡理科大学
令和8年度第1回

公開講座

はじまりを、つくる



共通テーマ: アジアの建築を探求する 石のアンコール遺跡群と木のベトナム建築

本講座では、建築史学の視点からアジアの多様な建築文化と歴史を探求する。カンボジアの密林にそびえる巨大な石造建築「アンコール遺跡群」と、東アジア文化圏の南端に所在する「ベトナムの伝統木造建築」。一見全く異なるこれら二つの建築文化を取り上げ、第一線で活躍する二人の研究者がその魅力を語る。「石」と「木」という素材の違いだけでなく、それぞれの地域がインドと中国という大文明とどう向き合い、いかにして独自の建築空間を作り上げてきたのか。図面や実測データから見えてくる、アジア建築の奥深い世界を探求する。

令和8年 6月7日

13:15~ 開会挨拶
13:20~ 基調講演1
14:30~ 休憩(10分)
14:40~ 基調講演2
15:55 閉会

会場 静岡理科大学
教育棟300講義室
(袋井市豊沢2200-2)
定員 150名 ※先着順 対面開催

講演1 13:20~14:30(講演60分+質疑10分)

木のベトナム建築を探求する

講師 林 英昭 (静岡理科大学 建築・都市デザイン学部 准教授)

漢字文化圏の南端に位置するベトナムの伝統木造建築を探求する。中華王朝に倣った都市構造を持ちながらも、周辺地域に類例のない極めて独自の木造架構を発達させてきた。長年の現地調査から浮かび上がるのは、独特の道具を操る職人の知恵である。謎多き大工技術から、アジア文化の境界線を読み解く。

講演2 14:40~15:50(講演60分+質疑10分)

石のアンコール遺跡群を探求する

講師 中川 武氏 (早稲田大学名誉教授、博物館明治村館長)

アンコール遺跡の保存修復を長年牽引してきた経験をもとに、巨大な石造建築の真の姿に迫る。近代的な建設機械など持たない時代に、環境と調和しながらいかにして精緻な聖なる空間が構築されたのか。遺跡の実測から見えてきた独自の設計手法や古代クメールの宇宙観を通じ、人類の世界建築史におけるアンコールの意義を解き明かす。

申込方法

- ①参加申込フォームからお申込み
<https://forms.gle/ypwUUyNqHU4naFux8>
- ②裏面の受講申込書を記入し、FAXでお申込み
- ③本講座は団体申込が可能です。団体申込(5名以上)を希望される際には、右記問い合わせ先へご連絡ください。



参加申込フォーム

申込締切

6月3日(水)

お問い合わせ

静岡理科大学

事務局 入試広報・社会連携課

TEL:0538-45-0115

E-mail: nyushi@sist.ac.jp

主催 静岡理科大学

後援

袋井市、袋井市教育委員会、袋井商工会議所、浜松商工会議所、公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社

0538-45-0110

静岡理科大学 公開講座 受講申込書

申込講座名	アジアの建築を探求する： 石のアンコール遺跡群と木のベトナム建築 2026年6月7日開催		
ふりがな			
氏名	性別	男・女・その他	年齢 歳
住所	〒		
来場方法	<input type="checkbox"/> 無料バス <input type="checkbox"/> 自家用車 <input type="checkbox"/> その他(徒歩など)		
電話番号			
FAX			
メールアドレス	※開催方式の変更等が発生した際のご案内はメールでお送りいたします。		

ご記入いただいた個人情報は、本学関係の資料・情報の送付のみに使用させていただきます。

申込方法

下記フォームもしくは、FAXにてお申込みください。
また、本講座は団体申込が可能です。
団体申込(5名以上)を希望される際には、下記問い合わせ先へご連絡ください。

申込フォーム：
<https://forms.gle/ypwUUyNqHU4naFux8>

FAX:0538-45-0110
申込締切:2026年6月3日(水)

※定員になり次第、締め切りさせていただきます。

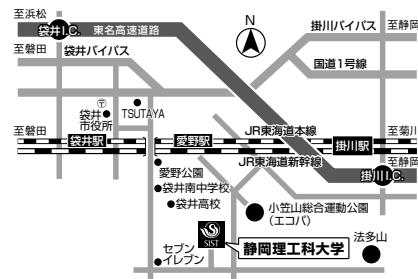


参加申込フォーム

会場アクセス

●大学までのご案内

- 大学の駐車場が利用可能です(利用無料)
- 愛野駅南口からの無料バスが利用可能です。
(行き:愛野駅南口12:50発、
帰り:大学16:10発)



お問い合わせ

静岡理科大学

事務局 入試広報・社会連携課

〒437-8555 袋井市豊沢2200番地の2

TEL 0538-45-0115 (代)

FAX 0538-45-0110

e-mail nyushi@sist.ac.jp

WEBサイト & SNS

【公式サイト】



【公開講座ご案内】



【公式Instagram】

